

「得意先別定番商品リスト」マニュアル

（よく販売する商品）というのは 得意先ごとにある程度決まっていたりします。そういった [定番商品] を 得意先ごとに最大 99 件まで登録しておく機能が「得意先別定番商品リスト」です。

納品書の発行／見積書の発行／売上帳の編集 で商品コードを入力するときに、あらかじめ登録されている「得意先別定番商品リスト」から選ぶ、という使い方ができます。※もちろん 商品マスターの一覧から選ぶという今まで通りの使い方もできます。

随時処理 - 得意先別定番商品リスト

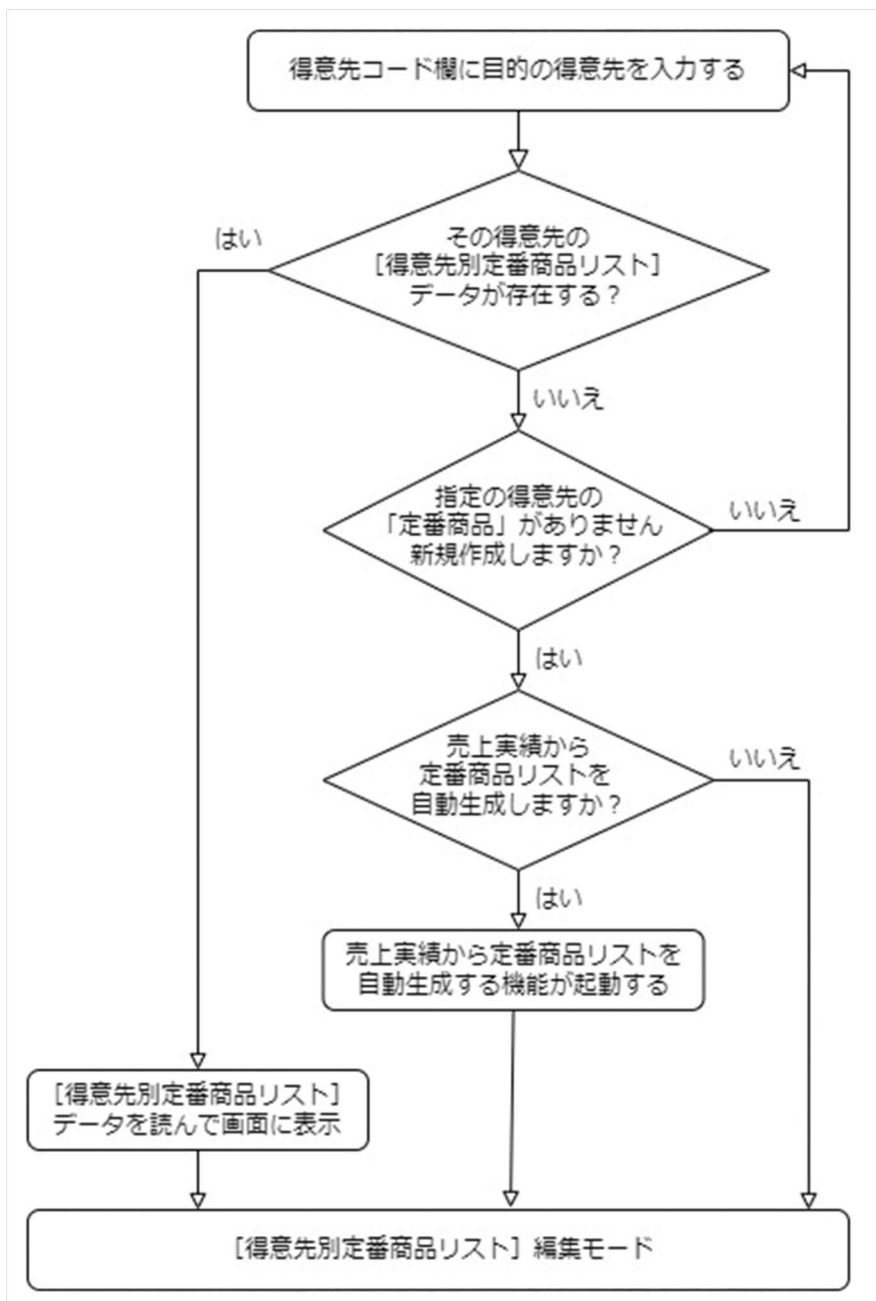
行	コード	商品名	単価	税区分
---	-----	-----	----	-----

「定番商品リスト」を作成したい得意先のコード番号を入力します。得意先ごとに最大 99 件の定番商品を登録することができます。

単価を登録しておくこともできますが、（単価が空欄）の状態に登録すると納品書の発行／見積書の発行／売上帳の編集 において [得意先別定番商品リスト] から(単価が空欄の定番商品)を選択した場合、単価・税区分は 商品マスターに登録された値が代入されます

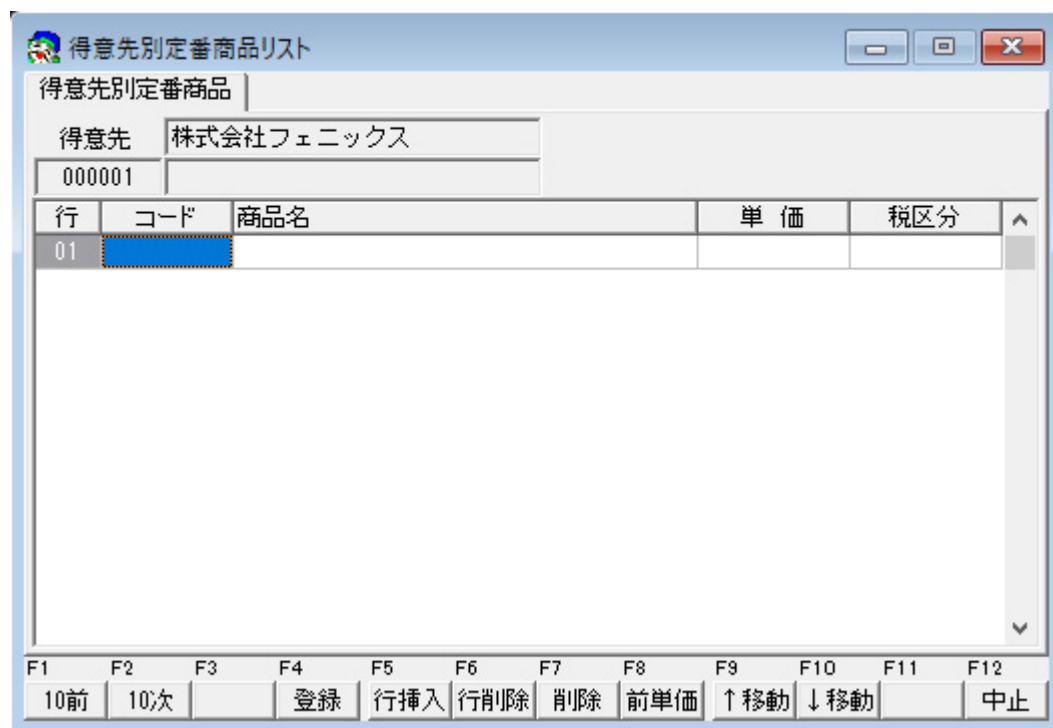
※納品書の発行 では 環境設定で設定されていれば、最新の前単価が自動的に

※代入されます



指定された得意先の「定番商品」データが存在しない場合、
「売上実績から定番商品リストを自動生成」（後述）することができます。

[得意先別定番商品リスト] 編集モード



行	コード	商品名	単価	税区分
01				

[売上帳の編集]と同様、最終行で【↓】キーを押すと新しい行が追加されます。
※得意先ごとに最大 99 行まで

入力できるのは 商品コード番号、単価、税区分 です
商品マスターに登録された単価をそのまま使いたい場合は
(単価欄を空欄)にしてください

F1【10前】／F2【10次】

1 行目, 11 行目, 21 行目,...という 10 行単位の頭出し移動

F1【10前】で↑方向に移動

F2【10次】で↓方向に移動

F4【登録】

編集中的数据を [得意先別定番商品リスト] データベースに登録します

F5【行挿入】

カーソル行の上に空行を挿入します

F6【行削除】

[はい] で カーソル行を行削除します

F7【削除】

[はい] で 編集中の得意先の定番商品データをすべて削除します

F8【前単価】

カーソル行の商品の過去の売上一覧から単価を選択します

F9【↑移動】／F10【↓移動】

行の並び順を変更します

F9【↑移動】でカーソル行を1行上に移動

F10【↓移動】でカーソル行を1行下に移動

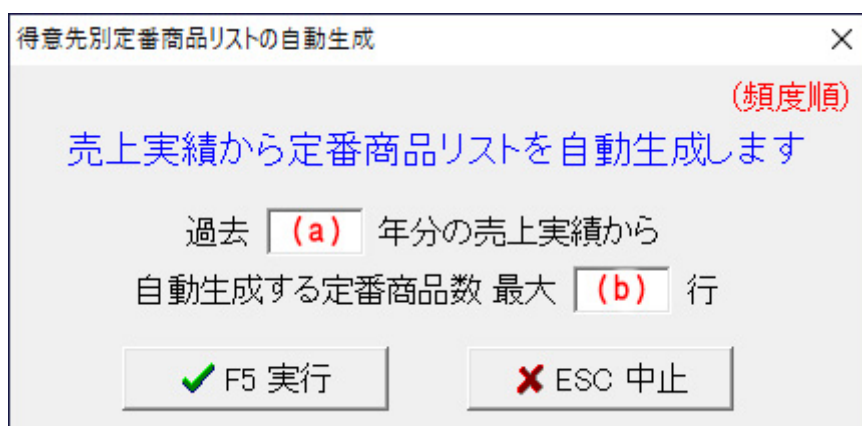
F12【中止】

編集中的数据を【登録】しないで【中止】します

[得意先別定番商品リスト] データベースは変化しません

[データ(D)]メニュー [売上実績から自動生成]

新規作成時にも実行できる機能です



(a) (b) を指定して [実行] ボタンで実行されます

今日の日付から (a)年分手前までの売上実績に対して
商品コードごとに売上帳に何行入力されているかが集計されます
この行数が多い商品から順に 最大(b)行までが自動生成の対象となります
その商品が売上帳に入力されている最新処理日の単価・税区分が登録されます

画面左上「得意先定番商品」というタブの右に「(頻度順)集計結果」というタブが表示
されます

この「(頻度順)集計結果」タブをクリックすると、自動生成のもとになった集計結果を
参照できます

※売上帳の(単価が 0,空欄,マイナス)または(金額が 0,空欄,マイナス)の行は
※集計対象外となっています

★表示ズーム設定

[得意先別定番商品リスト] は

環境設定 | ズーム | 各種マスター保守 のズーム設定で実行されます

[得意先別定番商品リスト] から商品を選択する

納品書の発行 (追加)

納品書 | 住所・粗利 | 統一伝票 |

納品先 000001 更新する 伝票入力日

〒 327-0824 栃木県佐野市馬門町東茂呂2004-5 請求先 000001 株式会社フェニックス

株式会社フェニックス 敬称 担当者 001 山田太郎

御中 受注(見積)日 売上日 請求処理日 伝票番号

課税区分 0 - 商品マスターの設定で販売

行	区分	コード	商品名	容量	数量	単位	単価	金額
01	01							

摘要 金額合計 外税額 税込

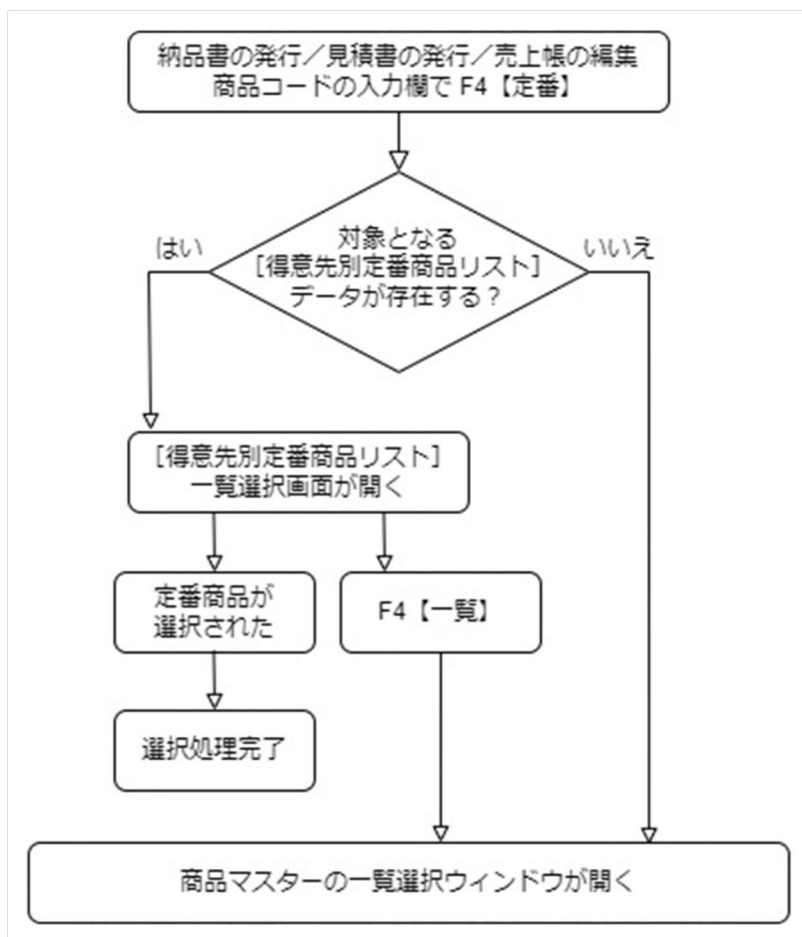
F1 前 F2 次 F3 ページ F4 定番 F5 検索 F6 発行 F7 上置換 F8 前単価

納品書の発行／見積書の発行／売上帳の編集 において
商品コードの入力欄にカーソル移動すると
以前まで F4【一覧】だったファンクションキー表示が
F4【定番】という表示に変わります。(上図)

F4【定番】ボタンのクリック または【F4】キーで
[得意先別定番商品リスト]に登録された一覧が開きます。

※ [得意先別定番商品リスト]に登録されたデータがない場合は
※今まで通りの 商品マスターの一覧選択ウィンドウが開きます。

※商品コードの入力欄に表示される▼ボタンのクリックでは
※今まで通りの 商品マスターの一覧選択ウィンドウが開きます。



行	コード	商品名	単価	税区分
01	004001	コピー用紙 B5	1000	0-外税
02	004002	コピー用紙 A4	1200	0-外税
03	004003	コピー用紙 B4	1500	0-外税
04	004004	コピー用紙 A3	2000	0-外税

F1 10前 F2 10次 F3 F4 一覧 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12 閉じる

↑↓キーで移動して【Enter】キーで選択します

マウスの場合、目的の行をクリックして反転させて
反転した行をもう一度クリックすることで選択します

F1【10前】／F2【10次】

1行目, 11行目, 21行目,...という10行単位の頭出し移動

F1【10前】で↑方向に移動

F2【10次】で↓方向に移動

F4【一覧】

今まで通りの商品マスターの一覧選択ウィンドウを開きます

F12【閉じる】／【ESC】キー

選択しないで「得意先別定番商品リスト」画面を閉じます

★表示ズーム設定

F4【定番】による「得意先別定番商品リスト」の選択は

環境設定 | ズーム | 各種一覧選択ウィンドウのズーム設定で実行されます

【お問い合わせ先】

「かんたん！シリーズ」サポートダイヤル：0283-23-3944

Mail : support@kantan.co.jp

